



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス  
コード番号 5721 URL <http://www.s-science.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 品田 守敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 甲佐 邦彦

TEL 03-3573-3721

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	963	28.2	83		59		70	
2022年3月期第3四半期	751	10.9	229		212		217	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 9百万円 ( %) 2022年3月期第3四半期 217百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	0.50	
2022年3月期第3四半期	1.90	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,954	2,680	90.7
2022年3月期	2,940	2,689	91.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,680百万円 2022年3月期 2,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,400		105		80		95		0.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	141,593,749 株	2022年3月期	141,593,749 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,142 株	2022年3月期	2,094 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	141,591,607 株	2022年3月期3Q	114,133,790 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. その他	8
(継続企業の前提に関する重要事象等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、行動制限は緩和され、社会経済活動は回復傾向にありましたが、ウクライナ情勢の長期化や資源価格の高騰、急激な為替の変動など懸念材料もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、売上高9億63百万円(前年同四半期28.2%増)、営業損失83百万円(前同四半期営業損失2億29百万円)、経常損失59百万円(前年同四半期経常損失2億12百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失70百万円(前年同四半期純損失2億17百万円)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

#### (ニッケル事業)

前年同期に比べニッケル価額が上昇したことにより、売上高は6億17百万円(前年同四半期5億20百万円 18.5%増)となりました。

#### (不動産事業)

賃貸料収入のみ計上されたため、売上高は3百万円(前年同四半期5百万円 36.3%減)となりました。

#### (教育事業)

売上は、ありませんでした。(前年同四半期1百万円 100%減)

#### (リフォーム関連事業)

回復基調にあり、売上高は3億42百万円(前年同四半期1億80百万円 90.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ3億28百万円減少し23億61百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ3億42百万円増加し5億92百万円となりました。これはスーパー事業の固定資産の売却や廃棄による減少があったものの、それを上回る投資有価証券の購入等による増加があったためであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前事業年度末に比べ11百万円減少し、1億57百万円となりました。これは主に減資による未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ34百万円増加し、1億16百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ9百万円減少し、26億80百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、投資有価証券の評価額が上がったため差額を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年11月10日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありませんが、今後業績予想の数字に影響を及ぼす状況が生じた場合は、速やかに開示を行ないます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,735,154	1,323,126
受取手形、売掛金及び契約資産	264,509	249,103
有価証券	7,035	7,365
商品及び製品	627,441	622,343
仕掛品	15,696	27,709
その他	40,731	132,072
貸倒引当金	△105	△110
流動資産合計	2,690,463	2,361,611
固定資産		
有形固定資産	140,354	2,593
無形固定資産	-	361
投資その他の資産		
投資有価証券	3,024	492,065
その他	176,788	168,232
貸倒引当金	△70,546	△70,680
投資その他の資産合計	109,266	589,616
固定資産合計	249,621	592,570
資産合計	2,940,085	2,954,181
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,580	93,355
短期借入金	3,000	3,000
未払法人税等	43,065	5,097
賞与引当金	1,961	697
工事損失引当金	923	-
その他	28,156	55,228
流動負債合計	168,686	157,378
固定負債		
役員退職慰労引当金	66,040	68,192
退職給付に係る負債	11,854	13,221
資産除去債務	1,622	591
繰延税金負債	172	32,597
その他	1,800	1,800
固定負債合計	81,489	116,402
負債合計	250,175	273,781

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,111,932	100,000
資本剰余金	1,433,245	2,597,570
利益剰余金	△855,565	△78,718
自己株式	△93	△94
株主資本合計	2,689,518	2,618,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	61,642
その他の包括利益累計額合計	390	61,642
純資産合計	2,689,909	2,680,400
負債純資産合計	2,940,085	2,954,181

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	751,833	963,726
売上原価	594,741	777,032
売上総利益	157,092	186,693
販売費及び一般管理費	386,127	270,653
営業損失(△)	△229,034	△83,959
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6,748	13,253
有価証券売却益	1,952	-
有価証券評価益	3,367	330
受取賃貸料	2,997	4,475
物品売却益	-	1,064
固定資産処分益	-	2,345
その他	2,802	2,582
営業外収益合計	17,868	24,052
営業外費用		
支払利息	27	27
その他	1,294	50
営業外費用合計	1,321	77
経常損失(△)	△212,488	△59,983
特別利益		
受取和解金	-	593
特別利益合計	-	593
特別損失		
固定資産除却損	-	6,272
子会社株式評価損	485	-
特別損失合計	485	6,272
税金等調整前四半期純損失(△)	△212,974	△65,663
法人税、住民税及び事業税	4,403	5,097
法人税等合計	4,403	5,097
四半期純損失(△)	△217,377	△70,760
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△217,377	△70,760



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△217,377	△70,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	61,251
その他の包括利益合計	89	61,251
四半期包括利益	△217,288	△9,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△217,288	△9,509
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社は2021年11月12日開催の取締役決議に基づき、当第3四半期において2021年11月29日を振り込み期日とする第三者割当による16,000,000株の新株式発行を行ないました。これにより資本金及び資本剰余金が240,000,000円ずつ増加しました。

また、当第3四半期において2021年3月29日に発行したEVOFUNDを割当先とする第6回新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金が78,824,050円ずつ増加しました。この結果、当第3四半期連結会計年度において、資本金が2,048,776,000円、資本準備金が553,805,681円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、2022年6月29日開催の第103回定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について2022年8月9日に効力が発生しております。この結果、第2四半期連結累計期間において、資本金が2,011,932千円、資本準備金が616,961千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。また、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生により、その他資本剰余金の金額の一部847,607千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日 以下「時価算定会計基準適用指針」という)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

2022年3月期においては、営業損失やマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しており、当第3四半期連結累計期間においても、営業損失が続いておりますので、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しておりますが、この状況を改善するため2022年3月期に、新たな資金調達を完了し、資金計画には不確実性は認められません。

そのため、継続企業の前提に関する注記の必要性は無いものと判断しております。